

## <第4回 義肢装具体験イベント開催報告>

『義肢装具体験イベント』とは、当協会「障がい者、パラアスリート及び義肢装具士の啓蒙に関するWG」が取り組む、公益目的事業の活動の一つです。

この公益目的事業は、障がい者、パラアスリート及び彼らを支援する義肢装具士等専門職について、社会的な理解を高めるために啓蒙活動を行う事を目的としています。

4回目となる「義肢装具体験イベント」を平成30年9月8日（土）に東京都西東京市立 保谷中学校にて開催いたしました。

当日は「障がいのある方々と義肢装具士の関わり（講義）」・「義肢・装具の装着体験」・「義足ユーザーとの交流」の3つのプログラムを、中学校1年生とのびる組の生徒とその保護者、教職員を対象に実施いたしました。

総勢200名の生徒達に、(公社)日本義肢装具士協会 東日本支部から22名がスタッフとして対応しました。それぞれのイベントについて解説いたします。

### 「障がいのある方々と義肢装具士の関わり（講義）」

「障がい者・パラアスリート」と、その方々を支援する義肢装具士の職業について、理解を深めてもらう事を目的に講義をしました。また、講義に続いて代表の生徒をモデルに短下肢装具と体幹装具の採型デモンストレーションを実施しました。ほとんどの生徒が初めて見る採型作業に興味津々に様々な角度から見入っていました。質疑応答では義肢装具や義肢装具士に関する沢山の質問があり、活発な意見交換が行われました。



<講義風景>



<生徒への採型デモンストレーション>

### 「義肢・装具の装着体験」

体験用装具や模擬義足等を装着し、「障がい者・高齢者の動作」「切断者の義足歩行」を体験してもらう事や、身体的負担を体感することで、その理解とボランティアマインドの育成を目的としました。

高齢者の疑似体験用装具を装着して床から立ち上がったたり、模擬義足を装着して生徒同士で支えあつて歩いたり、多くの生徒達は初めての体験に驚きと身体的負担の多さを感じていました。



<高齢者の動作体験>



<模擬義足での歩行体験>

### 「義足ユーザーとの交流」

今回は義肢装具士でもあり大腿義足ユーザーの方に参加協力して頂きました。ユーザーと交流することにより、実際に会い言葉を交わす事で「障がい者」理解を深めてもらう事を目的としました。ユーザーとの質疑応答では、生徒からは日常生活に関する疑問点や、義足で不自由な事について等の質問が挙がりました。その後、床での座位やあぐらの取り方、小走りなどのパフォーマンス、バドミントンのラリーを生徒達と一緒にやり、交流を深めました。生徒はユーザーのパフォーマンスや義足の機能を目の当たりにして、義足に対しての印象が一変していました。今後の義肢装具の進歩を期待する声も聞かれるほどでした。



<義足ユーザーとの質疑応答場面>



<生徒とのバドミントンのラリー>

イベント開催後に実施したアンケート結果では、全体の約94%が体験イベントへの参加に満足しているとの回答を得ました。また、プログラムの中では実際に体感出来る「義肢・装具の装着体験」に最も興味を持っていただけたようです。パラリンピックのボランティアスタッフへの参加に関しては、全体の約52%が参加したいとの回答でした。生徒の中には、すでにパラスポーツに関わっている生徒がいて、もっと積極的に活動し多くの人にも見せて勇気をあたえたいと素晴らしい感想を述べていました。

今回で「義肢装具体験イベント」の開催は4回目となりましたが、多感な年代に「障がい者・パラアスリート」、その方々を支援する義肢装具士の業務を伝える事は、「障がい者理解」や「ボランティアマインドの育成」、「義肢装具士の理解と職業選択」に通じる非常に大切な啓蒙活動であると考えます。

このWGでは、これからも積極的に啓蒙事業に取り組んで参ります。

- ・義足生活の大変さが分かった。
- ・バドミントンが上手かった。
- ・人生で初めて義足を付けました。とても歩きずらかったけれど楽しかったです。
- ・貴重な体験が出来て良かったです。ありがとうございました。
- ・楽しかったです。
- ・義足を付けていても、あのような動きが出来る事に興味しました。
- ・義肢装具体験をして、障がいを持った人がどれほど大変なのかが良く分かりました。ためになった。
- ・今日はお忙しい中ありがとうございました。特に義肢装具体験が楽しかったです。  
義足を付けて歩くことの大変さなどが分かりました。またやってみたいと思いました。
- ・バドミントンができたのがびっくりした。そして凄いと思った。
- ・障害を持っている方にだけでなく、身近なご老人や、骨折してしまっている人など、自分が経験したことのない苦勞をしている人がいることが分かった。
- ・義肢を付けての運動は、足の切断前と比べて大変なのか？また、どちらの方が疲れるのかなと思いました。僕は切断した分の筋肉は使わないけれど、義肢で歩くことさえとても疲れるから、義足の方が疲れるのだと思いました。どうなのでしょう？
- ・義足を付けている人がスポーツをしたり、走ったりしている事に驚いた。  
義足の体験で義足が動きにくかったのが、軽やかに動いているのが凄いと思った。
- ・実際に義足をはいてみて大変だった。
- ・義足をはいているのに激しい運動ができてるのが凄いと思った。
- ・高齢者は大変だと実感した。
- ・義足は思ったより使い易かったです。
- ・ポジティブに考えていて凄い。
- ・手や足が不自由な人たちの生活の大変さが良く分かったのが良かったです。
- ・体験をして障害を持っている人の苦勞が分かった。様々な体験でいい経験になりました。
- ・義足を初めて詳しく知った。面白かった。
- ・障がいがあると大変。
- ・あんなにも繊細な義足などを作る義肢装具士は凄いと思った。
- ・私は特に、麻痺の障害を持っている人が付ける器具に興味を持ちました。  
つま先が垂れないように、しっかり固定されてる器具がとても興味深いと思いました。  
また義足を付けている人はとても凄いと思いました。理由はバランスを取るのが難しかったです。
- ・ユーザーの話を聞いた後、装着体験をしたら、とても気持ちが分かった。
- ・義肢装具士のみなさんは、とても技術が高くてとてもびっくりしました。
- ・義足を付けるのが楽しく、意外にすぐ慣れました。義足生活も悪くないと思いました。
- ・義足はもっと歩きずらいと思っていたが、思ったよりも楽に歩けた。
- ・未来の義肢装具の進歩がとても気になった。
- ・義足をはいていた時に違和感があったので、義足をはいてる人は大変なんだと思いました。
- ・義肢装具士の方がとても親切にしてくれて、とても楽しい体験ができた。
- ・義足などを付けてみて、普段このような生活をしている人たちは、義足の新しい機能をやってみて、今はとても楽になったなと感じた。

- ・体験してみてももの凄く歩きにくいのか分かって、大変だなと思った。
- ・義足の人、大変なのに、笑顔だったのがとても凄いなと思い、良かったです。
- ・義足体験をしてみて障がい者の事が良く分かった。
- ・意外と思ったより楽しくて、貴重な体験が出来たので、良かったです！出来ればまたやりたいです。
- ・義足ユーザーさんも装具士だったのもあって、詳しくとても分かり易かった。
- ・足が片方しかないのに、バドミントンが出来るなんて凄いなと思った。
- ・言葉だけではなく、体験も出来たので、ユーザーの方々の困る事はもちろん、変わらない事も分かり、とても良い体験ができました。
- ・体験出来る義肢装具の種類が多くて、おもしろかったです。
- ・義足は凄く歩きにくくて大変なんだろうなと思っていただけ、やってみると意外と歩き易かったです。楽しく出来て良かったです。
- ・義足で支えがあったから良かったけど、なかったら歩けないと思った。
- ・今回の体験をして知らない器具をつけた時の感触を知れて、障害者たちは日々大変だなと思った。
- ・本当に貴重な体験が出来て、嬉しかったです。色々な事も知れて良かったです。
- ・義足を付けている M さんでしたが、悪い事を思わずポジティブに考えていて、良いと思いました。
- ・今まで、義足などに興味がなかったけれど、今回の講座で興味がわいてきました。
- ・実際に来ていただいて、体験も出来てとても楽しく、障害についての理解も深まりました。
- ・私も装具をつけて生活をしているので、良い体験になりました。
- ・障害のある方々とも交流することが出来て、いい経験になりました。体験も優しく教えてくれたので良かったです。
- ・足が無くなったのに笑顔でいるのが、とても凄いなと思った。これから、もっとたくさん辛い事や嬉しい事があると思いますが、笑顔 Smile で頑張ってください！！
- ・普段義足を付けている人と関わりがないので、貴重な時間を作っていただきありがとうございました。
- ・特に考えた事はなかったけれど、今回で障害者・義肢について深く知る事が出来ました。
- ・義足を初めて見たり、触ったりする事が出来て良かったです。
- ・障がいや、事故で手足が無くなった人の為に義肢が出来て良かったと思います。義肢を付けて手足が無くなった人たちの気持ちが分かったかもしれないです。もし自分が出来たら手伝いたいです。
- ・体験をしてみて、足や手が不自由だと全然歩けなかったりして、大変だったので普通の体がいかにいい事が分かりました。
- ・装具を付けて膝より下は歩き易かったが、膝からは大変なのでそれを使いこなしている人は凄いなと思います。
- ・義足を使用している人の立場になったことがなかったので、この体験は本当に良かった。
- ・義足ユーザーの方の義足がすごかった！体験で難しさを知れました。
- ・講義が分かり易くて良かったです。
- ・2020年のパラリンピックでは、ぜひボランティア活動に参加したいです。
- ・義肢装具士の方は、障がいの人を助けてくれる、凄い人だと思いました。
- ・たくさんの人々が関わっているのだなと思って、感動した。
- ・日本の技術でパラリンピックも進化するので頑張ってもらいたい。
- ・足や手に障がいがある方は体の一部が機械でとても大変だなと思った。力になれる事があるなら、手伝いたい。

- ・高齢者の体験コーナー、顔部分が動かさないのは、とてもストレスだったので、高齢者を大事にしてあげなければならない、そう思った。
- ・義足を体験したとき思ったより重くて、義足を常に付けている人は凄いと思った。
- ・義足をつけていても練習すれば、とても上手く歩けるのを見て凄いと思いました。
- ・義足ユーザーとの交流で、義足を付けている人の生活の大変さが分かりました。  
今回のイベントをやってパラリンピックのボランティアに携わりたいと思った。
- ・部活動でパラリンピック、パラスポーツに関わる事に取り組んでいるのもっと協力したいです。
- ・義肢装具装着体験をした時、思っていた以上に難しかったけど、楽しく出来たので良かったです。
- ・最後は時間が過ぎているにもかかわらず、体験させてくださりありがとうございました！  
おかげでいい経験が出来ました！
- ・義足体験が楽しかったのですが、付けたいとは思いませんでした。
- ・義足ユーザーさんのバドミントンが凄かったです。  
他の義足の方に見せてあげれば勇気を与えられると思いました。
- ・すごく不自由で大変なことが分かった。
- ・片足の義肢装具体験が、バランスを取るのが難しかった。  
片足が義肢でも、凄くスムーズに動けて凄かった。
- ・義肢を付けていても、普通に歩いているのが凄かった。義肢装具士の事を知れて良かった。
- ・義足の体験をして、付けている人は凄く大変な思いをしている事が改めて分かった。  
曲がる時、倒れそうになった。
- ・義肢に触れたり、実際に付けられたり、障がいのある人に対しての気持ちが変わりました。
- ・20人以上お忙しい中、来ていただきありがとうございました。
- ・義足と足が当たるところが、どのようになっているか知りたいです。
- ・義足について学んで、障害者の辛さを実感した。
- ・義肢装具を付けてみて、歩いたり座ったりするだけでドキドキしました。
- ・今まで良く知らなかった物が良く知れたし、体験を通じて自分自身が感じる事が出来て良かったです。
- ・バドミントンで義足を付けているのに、すばやく前後左右動いてびっくりしました。
- ・義足は思っていたよりも歩き易かったです。歩き易いように沢山工夫されている事が分かりました。
- ・障がいがある人がいたら、自分に出来る事をしたいです。
- ・障害者の方についての理解が深まったので、これからもっと伸ばしていこうと思った。  
初めての義足で、良い経験になったので忘れずに過ごしていきたい。
- ・義足の種類によって楽しさや、大変さが良く分かった。
- ・ギプスがこんなに重いとは思わなかったなので、知れて良かったです。